

# 日赤おおいた

No.

55



赤十字キッズパークを開催しました  
詳しくは日赤大分県支部のホームページ、SNSまで

## Topics

- 学生対象防災ボランティアセミナーを開催しました
- 赤十字のボランティアってどんなことをしているの？  
～大分県青少年赤十字賛助奉仕団の紹介～
- 赤十字の寄付ってどんなものがあるの？
- 自動ラップ式トイレを整備しました
- 災害救護訓練を実施しました

「ご当地カレー」が当たるアンケート実施中!



ホームページ



Twitter



Instagram

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

大分県支部

## 学生対象防災ボランティアセミナーを開催しました

6月26日（日）に学生対象防災ボランティアセミナーを大分県支部で実施しました。県内の大学・専門学校に通う学生23名が参加し、災害図上訓練（DIG）や災害時に役立つ応急手当の実習を行いました。

災害図上訓練（DIG）とは、大きな地図をみんなで囲み、経験したことの無い災害をイメージして地域の課題を発見し、災害対応や事前の対策などを検討する訓練です。

参加した学生からは、「DIGを通じて自分の住む地域は災害が起こった時にどのような影響があるのか、町にはどのような施設があるのか改めて考える良い機会になった」、「三角巾を使用した応急手当はいざという時に人の役に立てるように練習しておこうと思う」、「グループワークや実習で他学校の学生と交流ができて楽しく防災について学べた」というご感想が寄せられました。

定期的にこのようなセミナーを行っていますので、お問い合わせいただくか、日赤大分県支部のホームページをご覧ください。



## 赤十字のボランティアってどんなことをしているの？

今回は大分県青少年赤十字賛助奉仕団の一員として活動しているお二人に赤十字のボランティアについてお話を伺いました。

この奉仕団は、小・中・高等学校などで青少年赤十字（JRC）の指導にあたっていた教員や、この教育に深い理解と認識を持っている方たちで構成され、青少年赤十字の普及発展、赤十字の精神やその活動の理解・啓発などを行っています。

（顧問）阿部 恒次さん（写真向かって左）

小学校の教員になった1年目にトレセン（通称：リーダーシップトレーニングセンター。2泊3日の宿泊研修）に参加し、その特徴ある指導方法に感銘を受けたことで、JRCの指導に携わるようになりました。以後、夏休みに行われるトレセンにはほぼ毎年参加しています。（奈良県に異動となった際も、現地のトレセンに参加しました。）

参加することで、最初は指示待ちの姿勢だった子どもたちが、自分たちで時間を守り、自発的に行動ができるようになっていく様子を見るのはとても嬉しいです。

トレセンの経験を活かし、大分県の小学校で初めてノーチャームでの生活を取り入れたりもしました。

指導者は「子どもたちに、いかに問題を気付かせるか」ということが大事だと思います。

今後も青少年赤十字が活発になるよう、トレセンへの参加や学校での活動に力を入れていきたいです。

（委員長）久壽米木 重生さん（写真向かって右）

私が30歳の時、赴任していた小学校はJRCに加盟していましたが、当初はJRCというものを知らず、加盟しているからといって何をするのかよくわかりませんでした。

物は試しに、その時募集があったトレセンに自分が受け持っていた5年生のクラス全員を連れて参加しました。

その子どもたちが6年生になったとき、「また参加したい!」という児童が何人もいたため、その年もトレセンに参加し、気づけば指導者としてJRCに関わるようになっていました。

長年JRCを指導していますが、ある学校では、登校できなかった子どもがトレセンに参加したことで、学校に通えるようになり、さらに学級委員長にまで立候補したことがあり、その時はとても感動しました。

今後はJRC加盟校での日常的な活動の活性化や、JRC活動のアドバイスなどを行ったり、ということもしたいと考えています。





## 赤十字の寄付って どんなものがあるの？

- 活動資金とは…災害救護活動などの日本赤十字社の人道的活動に使われます。
  - 義援金とは…日本国内の災害に使われます。被災した県に設置される義援金配分委員会に全額が送金され、被災者に届けられます。
  - 海外救援金とは…海外の災害や紛争で苦しむ方々のために使われます。
- 今年度、ご寄付をいただいた方々を一部ご紹介します。



エフエムさいき様

同局のラジオ放送にてウクライナ人道危機救援金の協力を呼び掛け、約200人の方からご協力をいただきました。



株式会社ノーベル様

ドローンによる救援物資配送の社会実験がご縁で、活動資金をご寄付いただきました。



大分市薬剤師会様

大分市薬剤師会に所属する会員の皆様からウクライナ人道危機救援金をいただきました。

## 自動ラップ式トイレを 整備しました！

災害時や新型コロナウイルスによる感染症下での避難所の公衆衛生の向上などを目的に、「組立てトランク型自動ラップ式トイレ（ラップオン）」を当支部に10台整備しました。

使い方は簡単で、凝固剤で排泄物を固め、作動ボタンを押すと熱圧着で自動的にラップ（個包装）して出てきます。

通常は電源を使用しますが、停電時はバッテリーで稼働することができ、水を使わず、臭いも漏らさず、手を触れることなく排泄物を密封するので、衛生的で感染予防にも役立ちます。

また、簡易テントも備えているので、プライバシーも保たれます。



## 災害に備えて救護班の養成研修を開催

頻発化・激甚化している災害に備えて、赤十字救護班（医師、看護師、事務職員等から構成され、被災地に派遣される医療チーム）の養成研修を7月2日～3日の2日間、大分県消防学校で開催しました。研修には受講者と運営スタッフのほか、ボランティアも傷病者役などで参加。救護資機材の取り扱いの習得や、治療や搬送の優先順位を決めるトリアージの演習を踏まえ、大雨による土砂災害を想定した実践訓練に臨みました。



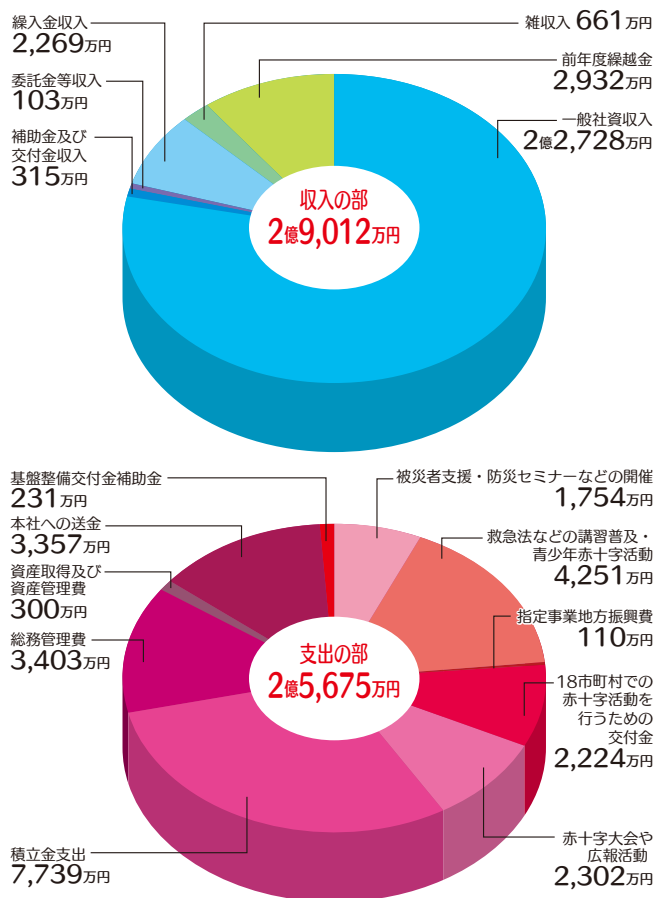
効率的な救護を行うためのレイアウトや人員配置を検討する



トリアージを行った傷病者に治療を行う救護班

# 令和3年度 事業報告及び決算報告 が承認されました。

## 日本赤十字社大分県支部 一般会計決算



# 献血ルームわったん 誕生祭

オープン12周年を記念して、  
献血いただいた方に記念品が当たる  
抽選会を実施します！

～ 期間 ～  
**9月1日(木)～9月30日(金)**  
詳細はホームページをご覧ください。

※献血のご予約はWEBまたはお電話で

受付で  
「日赤おおいたをみた!」で  
抽選にもう一度  
チャレンジできるっ！

## アンケートにご協力をお願いします

今後の「日赤おおいた」の紙面づくりの参考とするために、アンケートへのご協力をお願いします。右記の①～④をご記入のうえ、令和4年10月28日(金)必着で、郵便、FAXにてご回答ください。

ご協力いただいた方から抽選で、20種類のご当地カレーの中からいずれか2つを10名の方にプレゼントします。  
(種類は選べません)

皆様のご意見をお待ちしています。



※記念品当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

- ① お名前・郵便番号・ご住所・年齢
- ② 本誌を読まれた場所（地区など）
- ③ 本誌へのご意見・ご感想
- ④ 今後掲載してほしい内容

### ● 回答先 ●

#### 郵 送

〒870-0033 大分市千代町2丁目3番31号  
日本赤十字社大分県支部 総務課  
「日赤おおいた」55号 アンケート係

FAX (097)533-6795

 **日本赤十字社** 大分県支部  
Japanese Red Cross Society

大分市千代町2丁目3番31号  
TEL (097)534-2236・FAX (097)533-6795

日赤大分  検 索

「日赤おおいた」のバックナンバーは、こちらからご覧になれます。

### 大分赤十字病院

〒870-0033 大分市千代町3丁目2-37  
TEL (097) 532-6181

### 大分赤十字血液センター

〒870-0889 大分市大字荏隈717-5  
TEL (097) 547-1151

### 献血ルーム・わったん

〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1  
「トキハわさだタウン」3街区2階  
TEL (097)574.6822  
予約専用 ☎0120-489-150